

平成29年度(平成28年度対象)

教育委員会点検・評価報告書

平成29年9月

新冠町教育委員会

目 次

1 はじめに	2
(1)趣旨		
(2)点検・評価の対象		
(3)点検・評価の方法		
2 教育委員会の会議の開催状況及び付議案件	3
3 条例・規則の改正、要綱等の策定	5
4 教育委員会委員の活動状況	5
(1)平成28年度教育委員会活動一覧		
(2)項目別点検		
①教育委員会会議		
②視察・学校訪問		
③各種行事、会議・研修会の参加		
④広報活動		
(3)教育委員会表彰		
5 教育予算概要	8
6 教育委員会の施策・事業評価総括表	9
7 管理課所管の施策・事業の評価調書	14
8 認定こども園の施策・事業の評価調書	19
9 社会教育所管の施策・事業の評価調書	20
関係資料・平成28年度 新冠の教育	26

1.はじめに

(1) 趣旨

平成19年6月に「地方教育行政の組織および運営に関する法律」が改正され（平成20年4月1日施行）教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行うことが義務付けられました。

事務の点検・評価は、教育委員会が事務の管理及び執行状況を点検・評価することにより、効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対し説明を果たすことを目的としています。

(2) 点検・評価の対象

平成28年度教育行政執行方針に掲げられた主な施策等を対象としました。

(3) 点検・評価の方法

主な施策等に対する具体的な取組内容をまとめ、計画、評価内容、今後の課題と必要な取組をまとめ評価といたしました。評価は内部評価と、外部評価とし、関係機関から意見や助言をいただきました。

①施策

平成28年度の教育執行方針に基づき、点検、評価の対象となる主な施策を示しております。

②施策に対する計画内容

平成28年度に実施した施策の詳細な内容について示しております。

③評価内容

実施した施策についての評価の内容を示しております。

④今後の課題と必要な取組

施策の課題と今後に必要な取組について示しております。

⑤評価の内容

評価については、以下により評価しております。

- ・ A 達成できた
- ・ B 概ね達成できた
- ・ C 達成できなかった

2 教育委員会の会議の開催状況及び付議案件

開催回数・期日	付 議 案 件 等
第 5 回 平成28年 4月27日	(報告) ・ 一般事務報告について ・ 平成28年度学級編成及び教職員数について ・ 平成27年度卒業生奨学生の進路状況について (議案) ・ 平成28年度新冠町奨学生の選定並びに奨学金の額の決定について ・ 新冠町社会教育委員の委嘱について
第 6 回 平成28年 5月27日	(選挙) ・ 委員長の選挙について (報告) ・ 一般事務報告について ・ 新冠町立学校職員の人事発令について (議案) ・ 平成28年度特別支援学級に就学を要する児童生徒について
第 7 回 平成28年 6月28日	(報告) ・ 一般事務報告について ・ 平成28年新冠町議会第2回定例会に関する諸報告について ・ 新冠町立認定こども園条例の一部を改正する条例
第 8 回 平成28年 7月27日	(報告) ・ 一般事務報告について
第 9 回 平成28年 8月29日	(報告) ・ 一般事務報告について ・ 新冠町立学校職員の人事発令について ・ 損害賠償の和解及び損害賠償の額について (議案) ・ 平成29年度に使用する小学校用及び中学校用教科書図書の採択について ・ 新冠町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
第 10 回 平成28年 9月28日	(報告) ・ 一般事務報告について ・ 平成28年新冠町議会第3回定例会に関する諸報告について ・ 新冠町の教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について (協議) ・ 卒業式・入学式の適切な実施について

開催回数・期日	付 議 案 件 等
<p>第 1 1 回 平成28年10月18日</p>	<p>(同意)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育長職務代理人について <p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務報告について ・平成28年度学級編制及び教職員数（見込）について ・平成28年度指導方法工夫改善事業（T T）等の教職員数について
<p>第 1 2 回 平成28年11月28日</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務報告について ・平成27年度一般会計等決算審査の結果について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度教育賞及び教育奨励賞表彰の被表彰者の決定について
<p>第 1 3 回 平成28年12月26日</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務報告について ・平成28年新冠町議会第4回定例会に関する諸報告について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度特別支援学級に就学を要する児童生徒について
<p>第 1 回 平成29年 1月26日</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務報告について ・平成29年度学級編制及び教職員数（見込）について ・平成28年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果について ・新冠町臨時職員（小学校教諭）の募集について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新冠町立学校管理規則の一部改正について ・新冠町立学校職員服務規定の制定について
<p>第 2 回 平成29年 2月27日</p>	<p>(報告)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務報告について ・平成29年度予算の概要について <p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度教育行政執行方針について ・新冠町町費負担臨時教員の任用等に関する規則の制定について
<p>第 3 回 平成29年 3月10日</p>	<p>(議案)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度当初の教職員人事について

開催回数・期日	付議案件等
第4回 平成29年 3月27日	(報告) <ul style="list-style-type: none"> ・一般事務報告について ・平成29年新冠町議会第1回定例会に関する諸報告について ・教育委員会職員の人事内示について (議案) <ul style="list-style-type: none"> ・新冠町立学校管理規則の一部を改正する規則について ・新冠町立学校職員服務規定の一部を改正する訓令について ・修学旅行の引率に従事する新冠町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部を改正する訓令について

3 条例・規則の改正、要綱等の策定

条例の改正	<ul style="list-style-type: none"> ・新冠町立認定こども園条例の一部を改正する条例について
規則の改正	<ul style="list-style-type: none"> ・新冠町立学校規則の一部改正について ・新冠町立学校管理規則の一部を改正する規則について ・修学旅行の引率業務等に従事する新冠町立学校職員の勤務時間の割振り等に関する要領の一部改正について

4 教育委員会委員の活動状況

(1) 平成28年度教育委員の活動の状況 ※教育長を除く

期 日	活 動 内 容	委 員 名
4月 4日(月)	認定こども園ド・レ・ミ入園式	下山委員
4月 4日(月)	教職員辞令交付式	委員長外、全委員
4月 7日(木)	新冠中学校入学式	小林委員長
4月 7日(木)	新冠小学校入学式	前川委員
4月 8日(金)	朝日小学校入学式	下山委員
4月27日(水)	第5回教育委員会	委員長外、全委員
5月27日(金)	第6回教育委員会	委員長外、全委員
5月28日(土)	新冠中学校体育祭	前川、下山委員
6月 4日(土)	朝日小学校運動会	前川、下山委員
6月12日(日)	新冠小学校運動会	委員長外、全委員
6月28日(木)	第7回教育委員会	委員長外、全委員
7月 2日(土)	認定こども園ド・レ・ミ 運動会	委員長外、全委員
7月 7日(木)	北海道市町村教育研修(札幌市)	小林委員長

期 日	活 動 内 容	委 員 名
7月27日(水)	第8回教育委員会	委員長外、全委員
7月27日(水)	新冠町少年国内研修交流事業参加者面接	委員長外、全委員
8月26日(金)	教育委員学校訪問 こども園・新冠小学校	委員長外、全委員
8月29日(月)	教育委員学校訪問 新冠中学校	委員長外、全委員
8月29日(月)	第9回教育委員会	委員長外、全委員
9月 7日(水)	教育委員学校訪問 朝日小学校	委員長外、全委員
9月20日(火)	新冠中学校学校祭	前川、下山委員
9月28日(水)	第10回教育委員会	委員長外、全委員
10月 6日(金)	日高管内コミュニティ・スクール研修会	委員長外、全委員
10月22日(土)	朝日小学校学芸会	前川、下山委員
10月28日(金)	新冠小学校学習発表会	前川、下山委員
10月28日(金)	教育委員研修(節婦ほろしりの里・あおぞら)	全委員
10月18日(木)	第11回教育委員会	全委員
11月 3日(木)	新冠町功労賞贈呈式	全委員
11月 6日(日)	第60回日高地区PTA研究大会兼母親研修会	下山委員
11月12日(土)	認定こども園ド・レ・ミ おゆうぎ会	全委員
11月16日(水)	新冠小学校 実践発表会	鈴木、下山委員
11月19日(土)	ジュニアジャズ定期演奏会	全委員
11月21日(木)	第1回総合教育会議	全委員
11月24日(木)	朝日小学校 実践発表会	鈴木委員
11月28日(月)	第12回教育委員会	全委員
12月26日(月)	第13回教育委員会	全委員
1月 8日(日)	教育賞・教育奨励賞・農水新冠賞・森みつ少年少女文芸賞授与式、成人式	全委員
1月26日(木)	第1回教育委員会	全委員
2月 1日(水)	教育委員会第2回学校訪問 新冠小学校、新冠中学校	全委員
2月 7日(火)	教育委員会第2回学校訪問 認定こども園、朝日小学校	全委員
2月15日(水)	第2回総合教育会議	全委員
2月21日(火)	少年国内研修交流事業報告会	全委員
2月27日(月)	第2回教育委員会	全委員
3月10日(金)	第3回教育委員会	全委員
3月15日(水)	新冠中学校卒業式	全委員
3月17日(金)	朝日小学校卒業式	前川、下山、鈴木委員
3月21日(火)	新冠小学校卒業式	小林、鈴木委員
3月24日(金)	認定こども園ド・レ・ミ卒園式	前川、下山委員
3月27日(月)	第4回教育委員会	全委員

(2) 項目別点検

①教育委員会による点検

教育委員会会議については、原則毎月1回として開催する定例会と、必要に応じて開催する臨時会があり、保育・教育に関する様々な案件について検討し議決しております。

定例会の内容につきまして本年度から発行しております「教育委員会だより」により、町民の方々に広く周知しております。

②視察・学校訪問

新冠町教育委員会では、年間2回の学校訪問を行い、学校経営について、また、経営の進捗状況について、普段の児童生徒の学習の様子を視察するとともに、学校、こども園の設備等の状況について視察訪問しております。

③各種学校行事、会議、研修会等への参加

町内の小中学校、認定こども園ド・レ・ミの入学式、卒業式に各委員、教育長が出席しております。

また、各種会議・研修会に参加するとともに、定例会終了後に懇談を持ち、委員の資質向上に向けた取り組みを実施しております。

④広報活動

平成26年度より、「教育委員会だより」を発行し、定例会において議決した内容、全国学力学習状況調査の結果、体力運動能力調査結果について記載し、公表しております。

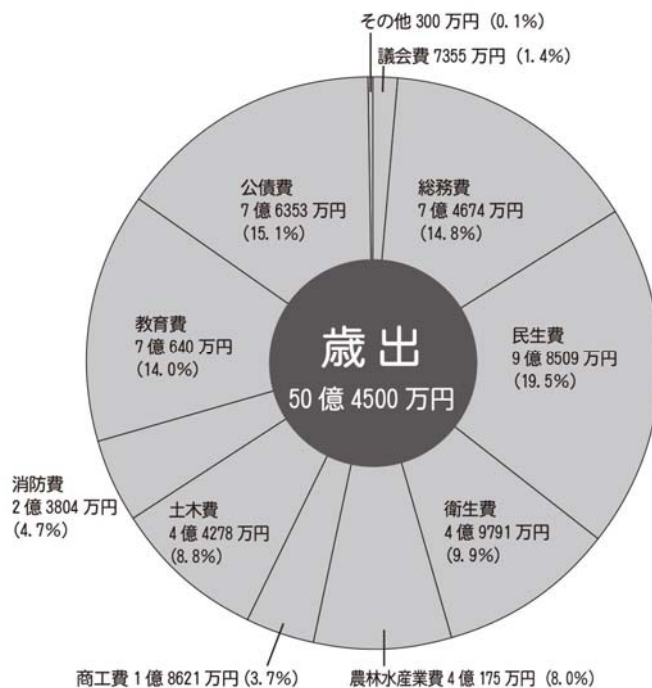
(3) 教育委員会表彰の実施

新冠町の教育・文化、スポーツ活動の振興発展に尽力し、その功績顕著な個人または、団体を表彰し、本町教育の振興発展を図る目的により、その榮譽を讃えております。

【平成28年度の受賞者】

・新冠町教育賞	教育賞	2名	スポーツ賞	5名
・教育奨励賞	教育奨励賞	4団体	芸術文化奨励賞	1団体
	スポーツ奨励賞	6名・2団体		

5 教育委員会予算状況



○予算（歳出）概要

(単位 千円)

款	項	金額
9	教育費	706,397
	1 教育総務費	141,138
	2 小学校費	98,296
	3 中学校費	55,544
	4 認定こども園費	167,005
	5 社会教育費	205,711
	6 保健体育費	38,703

平成28年度管理課所管の施策・事業の評価一覧

A 達成できた B 概ね達成できた C 達成できていない

取組むべき主な施策		推進方策		ページ	内部評価	外部評価
1	これからの社会をたくましく生きる力の育成	1	次期学習指導要領実施による学力向上に向けた適切な教育課程の編成と実施	14-NO.1	A	A
		2	確かな学力を育成するために、学習指導の工夫・改善を行い、全校的な学習過程や学習規律の統一のもとに、学習環境の整備を進める。	14-NO.2	A	A
		3	ICT教育推進委員会と連携し、デジタル教科書の配備・タブレット用ソフト充実などICT機器の活用を奨励し、授業の効率化と充実を進める。	14-NO.3	B	B
		4	家庭学習時間の充実や生活リズムの確立を図るため、PTAと協議・啓発活動を進め生活習慣の形成を図る。	14-NO.4	B	B
		5	特別支援教育連携協議会を通じて、一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の推進を図る。	15-NO.5	B	A
2	豊かな心と健やかな身体 の育成	1	「特別な教科 道徳」の実施に向けて、学校として重点内容項目を設定し、校長の明確な方針のもと、道徳教育推進教師を任命するなど校内体制を確立し、そのうえで、学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた研修や道徳教育推進のための全体計画や別葉等の計画を一層充実し、道徳授業の実践的な展開と公開に努め、道徳教育の質の向上を図る。	15-NO.1	A	A
		2	いじめ防止基本方針に基づきいじめの未然防止や関係機関との連携、児童生徒サポートチームを活用し不登校対策を進め、生徒指導の充実とともに教育相談体制の確立に努める。	15-NO.2	B	B
		3	読書活動の充実のためにPTAと連携し家読の奨励を図り、すべての学校図書室に新聞を配備し、言語活動の充実・情報活用能力の向上を	15-NO.3	B	B
		4	○健康な歯づくりのため、虫歯予防のフッ化物洗口事業の対象学年を拡大して、継続実施。 ○年2回の「ふるさと給食」に加え、新冠産牛乳の使用を拡大するなど、年間を通して地場産品を活用した食育の推進を図る。 ○学校におけるアレルギー対応のために校内研修を促進する。	16-NO.4	A	A

		5	16-NO.5	A	A
3	信頼される学校づくり	1	16-NO.1	B	A
4	地域全体ですすめる教育と教育委員会の役割	2	16-NO.2	B	B
		3	17-NO.3	B	B
		4	17-NO.4	A	A
		1	17-NO.1	A	A
		2	17-NO.2	A	A
		3	18-NO.3	A	A

平成28年度こども園ド・レ・ミ所管の施策・事業の評価一覧

A 達成できた B 概ね達成できた C 達成できていない

取組むべき主な施策		推進方策		ページ	内部評価	外部評価
1	開かれた就学前教育・保育活動の推進と子育て支援の充実	1	地域に開かれた園経営の充実	19-NO.1	A	A
		2	協働体制づくりと専門的な指導の充実	19-NO.2	B	B
		3	生涯学習の機能を活用する教育・保育	19-NO.3	B	B

平成28年度社会教育課所管の施策・事業の評価一覧

		A 達成できた B 概ね達成できた C 達成できていない		
取組むべき主な施策	推進方策	ページ	内部評価 外部評価	
1 レ・コード館における社会教育の推進	音楽の町としての特徴を活かした文化活動の向上を目指し、文化協会をはじめ各団体との連携強化を図る。特に文化芸術活動を通じ、町民がステージ発表を通じて緊張感や達成感を体感できる取り組みを進める。	20-NO.1	A	A
	平成29年度にレ・コード館開館20周年の節目を迎え、老朽化に対応した施設管理を進めるとともに、記念事業のあり方、館運営や収集レコードの管理・活用方法などについて方針を示す。	20-NO.2	A	A
2 社会体育の充実	1 体力向上や健康づくりは、家庭や地域の絆を深め、明るく豊かな生活をおくる上で、多くの町民がスポーツに気軽に取り組み始める環境整備に努める。特に近年では、健康型スポーツ活動に関する町民ニーズが高まっているため、体育関係団体や保健・医療・福祉分野との連携を図り、スポーツレクリエーションの普及推進に努める。	21-NO.1	A	A
	2 職員体制を強化し、教育委員会が主体性をもって施設管理や体育振興事業に取り組みを進める。	21-NO.2	A	A
3 図書プラザが事業の推進	3 競技スポーツにおいて、予選を勝ち抜いて全道、全国大会に出場する個人・団体に對する助成について、教育委員会が助成基準を明確化した上で、体育協会と連携した助成を行うことで、競技力向上と、選手・指導者育成など支援強化を図る。	21-NO.3	A	A
	1 幼児を対象として実施している「ブックスタート事業」は、子どもの本に対する興味関心を高め、親子の絆を深める上で効果的であるとの評価を踏まえ、継続した取り組みを行う。	22-NO.1	A	A
	2 読書記録手帳に関する周知や、読書週間事業などを通じ、利用者の利便性に配慮するとともに、本や学習の視点以外でも、知の拠点として、町民が気軽に集えるプラザが運営への工夫に努める。	22-NO.2	A	A
3 今年度から始まる第2次子ども読書活動推進計画に基づき、学校図書室への支援を継続するなど、児童生徒の読書意欲の向上に努める。	22-NO.3	A	A	

4	郷土資料館事業の充実	1	資料館がもつ「資料収集」「整理保存」「調査研究」「教育普及」という4つの機能を活かし、町民に親しまれる館運営の工夫に努める。	23-NO.1	A	A
		2	新冠に伝わる逸話や古老談などをまとめた「新冠百話」は、平成29年度の完成を予定しているが、特に子供向けに残したい逸話や伝説を選定し、絵本としてまとめる取組もあわせて進める。	23-NO.2	A	A
		3	幌尻岳の名勝指定に伴う啓発のため、町内に看板を設置するほか、ホロシリにまつわる伝説や自然環境の素晴らしさについての伝承事業を継続する。	23-NO.3	A	A
5	青少年教育の充実	1	児童館事業は、遊びや体験を中心に実施する、放課後子ども教室との連携で運営しているが、本年度からは職員体制を強化し、学童保育の要素を強化した取組みを行う。また、スクールバスを活用し、朝日小学校児童が放課後、児童館利用やスポーツ活動等に参加しやすい環境を整えるなど、子育て支援や、子どもの活動機会の拡充に努める。	24-NO.1	A	A
		2	少年国内研修事業については、継続した取組を進めるとともに、相互交流先である金武町子ども会が来町することから、受入に向けて具体的な準備を進める。	24-NO.2	A	A
6	成人教育の充実	3	各年齢層の多様な学習ニーズを的確に把握し、きめ細やかな支援活動を展開する。	25-NO.1	B	B
		1	高齢社会への対応として重要となる高齢者教育は、いきいき大学を中心として、町が実施する介護予防事業との連携強化により、参加しやすい事業運営に努める。	25-NO.2	A	A
		2	家庭教育においては、親同士のつながりの強化を推進するとともに、「地域ぐるみでの子育て」への意識を醸成するため親世代に対する学びの支援を行い、PTA連合会とも連携した取組みを推進する。	25-NO.3	B	A

7 管理課所管の施策・事業評価書

(1) これからの社会をたくましく生きる力の育成

NO.1

推進方策	次期学習指導要領実施による学力向上に向けた適切な教育課程の編成と実施	
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> ・研修効果を高める全員参加型の研修や多様な研修の実施、参加体制の構築を図り、適切な教育課程の実施を進める。 	
評価内容	校長会を通し、各種研修会への積極的な参加を促すとともに、新冠小学校、朝日小学校において公開研究会を実施した。また、地域連携担当教諭を各学校に位置付け、「キャリア教育」等の充実を図った。	
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・アクティブ・ラーニングの視点からの授業改善 ・地域連携担当教師の活用による「キャリア教育」の充実 ・平成30年度「先行実施」に係る日課表変更等の協議 	
内部評価	A	外部評価 A

NO.2

推進方策	確かな学力を育成するために、学習指導の工夫・改善を行い、全校的な学習過程や学習規律の統一のもとに、学習環境の整備を進める。	
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> ・授業における目標・課題の明確化と振り返りの学習の場の設定 ・TTや習熟度別学習など個に応じた指導の充実 ・全国学力学習状況調査等の諸テストの結果の有効活用 ・学習規律の徹底と検証(全教室に掲示) 	
評価内容	全国学力・学習状況調査の結果による課題及び改善策を各学校において協議検討するとともに、学校改善プランの見直しを進めた。また、基礎学習の向上を図る目的により「新冠町こども塾」を教育委員会において実施した。	
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・全国学力学習状況調査結果を踏まえた「学校運営」「授業改善」「学校改善プラン」の継続実施 ・補充学習及び長期休業中の学習サポートの継続実施 ・専科教諭、加配教諭を活用した授業内容の充実 	
内部評価	A	外部評価 A

NO.3

推進方策	ICT教育推進委員会と連携し、デジタル教科書の配備・タブレット用ソフト充実などICT機器の活用を奨励し、授業の効率化と充実を進める。	
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> ・学習効果を明確にした電子黒板や実物投影機、タブレット端末、デジタル教科書の積極的な活用 	
評価内容	電子黒板や実物投影機などICT機器を全教室に配備し、日常的な活用を促すとともに、中学校においては新たな教科書の使用に合わせ、デジタル教科書を購入した。また、その効果について、ICT推進委員会において協議した。	
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレットやデジタル教科書の積極的な活用ができるよう研修機会の充実 ・中学校におけるパソコン、タブレット端末の充実の検討 	
内部評価	B	外部評価 B

NO.4

推進方策	家庭学習時間の充実や生活リズムの確立を図るため、PTAと協議・啓発活動を進め生活習慣の形成を図る。	
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「学年×10分」の定着率の向上 ・ノーゲームデーを中核とした生活リズムづくり ・家庭学習手引きの作成及び発行、家庭学習の習慣化の定着と実態の把握 	
評価内容	各小中学校のPTAと懇談を持ち、全国学力学習状況調査の結果、分析を共有するとともに、課題を見出し、家庭学習時間の定着及び向上について協議をした。また、健全育成委員会の取組として生活リズムの改善について協議した。	
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・全町的な生活改善に向けた取組みの検討 ・家庭学習の手引きの有効活用 ・PTAとの積極的な連携 	
内部評価	B	外部評価 B

推進方策	特別支援教育連携協議会を通じて、一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の推進を図る。		
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な校内就学委員会開催 支援体制の充実及び保護者との連携 		
評価内容	特別支援教育連携協議会を開催し、講師による専門的な知識の向上を図った。また、幼小中の取組として、認定こども園と小学校との情報交流を進めた。		
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育連携協議会の充実 幼小中の連携した情報交流の場の設定 		
内部評価	B	外部評価	A

推進方策	いじめ防止基本方針に基づきいじめの未然防止や関係機関との連携、児童生徒サポートチームを活用し不登校対策を進め、生徒指導の充実とともに教育相談体制の確立に努める。		
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> 「いじめ基本方針」に基づいた取組の推進 児童理解の促進と生徒指導力の向上 教育相談の有効活用、ケース会議の開催 		
評価内容	北海道教育委員会が実施するいじめ調査を実施し、実態把握に努めるとともに、児童虐待、不登校対策等についても、早急な対応ができるよう、連携強化に努めた。		
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> いじめアンケートやQUTテスト等を効果的に活用した教育相談の充実 状況に合わせた早急な対応を図れるよう「いじめ基本方針」に基づく対応の強化 		
内部評価	B	外部評価	B

(2) 豊かな心と健やかな身体の育成

推進方策	「特別な教科 道徳」の実施に向けて、学校として重点内容項目を設定し、校長の明確な方針のもと、道徳教育推進教師を任命するなど校内体制を確立し、そのうえで、学習指導要領改訂の趣旨を踏まえた研修や道徳教育推進のための全体計画や別葉等の計画を一層充実し、道徳授業の実践的な展開と公開に努め、道徳教育の質の向上を図る。		
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育推進教師を核とした道徳的実践力を高める指導の構造化 授業内容の蓄積と交流・発信 地域参観日での「道徳の時間」の公開 		
評価内容	小中学校全てにおいて、地域参観日での「道徳の時間」の公開を実施した。また、ロードマップを作成するとともに、積極的に研修への参加を促進し道徳授業の質の向上を進め平成30年度に向けて着実な対応を図った。		
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の採択に合わせた年間指導計画の改訂 道徳教育年間指導計画別葉の検証 「考え議論する道徳」への授業改善 		
内部評価	A	外部評価	A

推進方策	読書活動の充実のためにPTAと連携し家読の奨励を図り、すべての学校図書室に新聞を配備し、言語活動の充実・情報活用能力の向上を図る。		
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> 読書週間・読書啓発期間の設定 ボランティアによる「読み聞かせ」の実施 家庭学習における読書の取組の推奨 		
評価内容	全ての学校に新聞を配備し、社会情勢の理解や授業での活用を促した。また、学校図書室に地域の図書ボランティアが積極的に関わりを持ち、読み聞かせや、室内環境整備を行い、児童が読書に関心を持たせる取組を行った。		
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 図書ボランティアの有効的な活用 図書プラザとの連携強化 家庭への読書推進の取組への理解向上 中学生への読書啓発 		
内部評価	B	外部評価	B

NO.4

推進方策	<p>○健康な菌づくりのため、虫菌予防のフッ化物洗口事業の対象学年を拡大して、継続実施。 ○年2回の「ふるさと給食」に加え、新産牛乳の使用を拡大するなど、年間を通して地場産品を活用した食育の推進を図る。 ○学校におけるアレルギー対応のために校内研修を促進する。</p>	
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物洗口については認定こども園から小学校4年生まで継続実施 ・「ふるさと給食」を通し食育指導の推進と充実を図る。 ・校内研修会におけるアレルギー学習会の開催 	
評価内容	<p>フッ化物洗口については、対象学年を上げ、こども園からの継続実施を行っている。また、「ふるさと給食」については、栄養教諭が地場食材を活用したメニューを作成するとともに、生産者を招き、生産の苦労や食材を通じた命の大切さを学ぶ、学習の場として定着している。アレルギーについては、マニュアルに基づき対応するとともに、校内研修においてさらに、研修を深めている。</p>	
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・フッ化物洗口については、対象学年を更に上げ実施する。 ・「ふるさと給食」については継続し食育の学習の場として継続実施する。 ・アレルギーについては、校内で共通した認識を持ち対応する 	
内部評価	A	外部評価 A

NO.5

推進方策	<p>○加配教員や体力向上推進委員会を活用し、マラソンや縄跳びなどの「一校一実践」の取組を奨励し体力づくりを推進。 ○関係団体と連携した防犯・防災訓練を実施し幼児・児童・生徒の安心・安全な生活を維持する。</p>	
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運動習慣づくりの取組の推進 ・災害に対する安全教育の充実・避難体制の確立 	
評価内容	<p>体力向上推進委員会において、幼小中の教員を対象とした、縄跳び講習会を開催し、幼小中の体力向上の取組として縄跳びを取り入れることとした。また、防犯・防災訓練については、計画的に実施している。</p>	
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上推進委員会による課題解決の取組を積極的に取り入れる。 ・防犯・防災については、年度計画にしっかりと取り入れ実施する。 	
内部評価	A	外部評価 A

(3)信頼される学校づくり

NO.1

推進方策	<p>校長の明確な経営方針とリーダーシップのもと、教職員の学校経営参画意識の高揚と学校運営の活性化を図り、チーム学校として組織的な運営を支援する。</p>	
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教頭の指導助言を踏まえた主任、部長等を中心した分掌の連携した取組の推進 ・教職員評価等における面談及び評価の定期的な実施 	
評価内容	<p>定例校長会において、各学校との情報交流を図るとともに、国や道教委の新たな動きについて情報提供を行いながら、校長のリーダーとしての意識の高揚と、チーム学校として組織できるような協議を進めた。</p>	
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・定例、臨時校長会の実施 ・教育委員学校訪問、学校経営や授業参観の現状把握の継続 	
内部評価	B	外部評価 A

NO.2

推進方策	<p>○幼小中連携協議会を通して交流・相互訪問を継続し、学校等の連携を強め、円滑な接続のもとに一貫した教育の推進を進める。 ○効果的な自己評価と公開・情報提供を行い、一層の外部評価の充実を図りマネジメントサイクルを働かせ、学校経営の改善を進める。</p>	
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小中連携協議会の実施 ・学校評議員会の積極的な活用 	
評価内容	<p>幼小中連携の取組として、行動計画の作成に向け協議を進めるとともに学校評議員を積極的に活用しながら、学校経営の改善が図れるよう進めた。</p>	
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・幼小中連携協議会の継続実施による課題の共有 ・学校評議員の活用 ・学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の研究 	
内部評価	B	外部評価 B

NO.3

推進方策	新たな学校職員人事評価制度のもとで、意欲の喚起を図り、教育公務員として負託にこたえ使命感と法令遵守に則り服務規律の徹底に努める。	
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> ・期首・期末面談における適切な指導助言の実施 ・職員会議における服務規律、法令遵守についての徹底 ・校内コンプライアンス月間の設定 	
評価内容	教職員との適切な面談を行い、資質、能力の向上を図るとともに、国や道教委が示す、コンプライアンスについて、校長会において共有し徹底するよう指導した。	
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な人事管理ができるよう人事評価制度を有効に実施する。 ・服務規律の徹底を定期的に実施する。 	
内部評価	B	B

NO.4

推進方策	<ul style="list-style-type: none"> ○研究指定校制度を設け、教職員の指導力向上を目指し、視察・調査研究や授業実践を広く公開し、情報発信する取組を支援していく。 ○開かれた学校づくり・地域とともに歩む学校づくりのため、ニーズに基づき、学校ボランティアの支援を広く求める。 	
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員の指導力向上を図る目的により、研究指定校制度を導入する。 ・図書ボランティア等の連携の促進 ・総合的な学習の時間における地域講師の活用 	
評価内容	教職員の指導力の向上及び新たな学習指導要領の研究を深める目的により、研究指定校制度の導入に向け、協議、検討を行い、次年度から実施することとした。また、積極的な地域講師を活用するため、社会教育の人材バンク等の活用を進めた。	
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指定校制度の実施 ・社会教育との連携による人材の活用 ・学校運営協議会(コミュニティ・スクール)の調査・研究 	
内部評価	A	A

(4) 地域全体ですすめる教育と教育委員会の役割

NO.1

推進方策	総合教育会議を通して町長部局・各課との連携、関係機関の協力を得て、児童生徒を取り巻く諸課題の解決に努める	
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> ・総合教育会議の実施 ・ケース会議の実施 	
評価内容	年間2回の「総合教育会議」を実施し、認定こども園の入園児数の増加、学校におけるいじめ調査の結果、不登校の状況、朝日小学校における児童数の減少に伴う複式学級の対応について協議し、また、ケース検討会議において、町民生活課、教委、学校との連携を図り、情報交換をしながら適正な対応を進めた。	
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な総合教育会議の実施 ・多様な家庭環境に即座に対応できるよう学校との情報交流を密にするとともに関係各課との連携を深め早急な対応を行う 	
内部評価	A	A

NO.2

推進方策	<ul style="list-style-type: none"> ○「教委だより」の発行などを通して積極的な情報発信に努め、開かれた教育委員会運営を行う。 ○学校訪問や視察研修を行い、教育課題の把握を行い、その解決のために校長会やPTAなどの団体と連携して進める 	
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「教育委員会だより」の発行 ・教育委員会学校訪問、教育委員研修の実施 	
評価内容	「教育委員会だより」を発行し、教育執行方針、行政報告の全文をのせ町民に周知するとともに、全国学力、体力調査の結果についても公表した。年2回の学校訪問を通じ、各学校の経営の状況、授業の様子等を学校長に説明を受けながら実施した。また、小中一貫校や道徳教育について視察研修を行った。	
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な「教育委員会だより」等の発行による情報提供 ・教育委員の資質向上を図った研修の充実 	
内部評価	A	A

<p>推進方策</p>	<p>○児童生徒に対して、教育賞などの表彰や種類の奨励事業・町独自の奨学金制度、漢字、英語検定料助成制度を継続し、生涯学習活動の支援を図る。 ○経済的理由により困難な家庭に対する就学援助事業の実施にあたり、助成項目を拡大するなど援助内容の充実を図る。</p>		
<p>施策に対する評価内容</p>	<p>・教育賞、教育奨励賞の実施 ・新冠町奨学金制度の実施 ・漢字、英語検定料助成制度の実施 ・就学援助事業の実施</p>		
<p>評価内容</p>	<p>高校生から大学生まで、対象人数を特に制限をしないで、優秀な生徒を対象とした奨学金制度は町特有なもので好評を得ている。また、漢字、英語検定の半額助成についてもH26年82件、H27年90件と年々利用者も増え、学力向上の一助となっている。就学金助成制度についても、国の基準に改め、また、新入学用品については、入学前に支給できるよう制度の見直しを図った。</p>		
<p>今後の課題と必要な取り組み</p>	<p>・新冠賞、新冠奨励賞の継続実施 ・新冠町奨学金制度の継続実施 ・漢字、英語検定料助成制度の継続と対象者の検討 ・就学援助事業の継続実施</p>		
<p>内部評価</p>	<p>A</p>	<p>外部評価</p>	<p>A</p>

8 認定こども園の施策・事業評価調書

(1) 開かれた就学前教育・保育活動の推進と子育て支援の充実

NO.1

推進方策	地域に開かれた園経営の充実			
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> ド・レ・ミの第2期長期計画策定によるド・レ・ミ教育・保育の重点及び具体的な取り組みの明確化 保護者と共に学び育む教育・保育活動 連携における相互活動の質を深める 自己評価、外部評価の実施 相談活動、懇談活動の実施 			
評価内容	地域に開かれた園経営を目指し、事業ごとに保護者アンケートを実施し改善点を見出しながら事業の充実を図るとともに、個人面談をおし相談、懇談活動を進め、また、子育て支援センターとの連携により子育ての不安解消のための情報提供を行い相互の質を高める活動を推進した。職員の指導力向上を目的に保育教諭の自己評価、外部評価を実施し、質の向上と共に指導方法の工夫、改善を図った。			
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 園日より、クラスだよりを活用した家庭への情報発信 子育て支援センター・発達支援センター・平取養護学校等との連携による個に応じた支援 保護者との個人面談による園児の状況等の交流、共有化 保護者アンケート・自己評価・園評価等の見直し及び活用 			
内部評価	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>外部評価</td> <td>A</td> </tr> </table>	A	外部評価	A
A	外部評価	A		

NO.2

推進方策	協働体制づくりと専門的な指導の充実			
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> 研修活動の充実 個に応じた保育・教育の充実 目的や目標の明確化 教育課程の編成と実態の調和 小学校職員との交流・研修 児童との交流体験活動の設定 			
評価内容	幼小中の連携の取組により、小学校教諭を講師に招き、園内研修を行うとともに、指導の成果を「おゆうぎ会」において発表した。また、新たな幼稚園指導要領、教育執行方針に基づき年間指導計画を作成し共有した。			
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 外部講師による園内研修の充実 局指導監・指導主事、町指導主事訪問を利用した指導・助言の活用 遊び・体験活動を中心とした教育・保育による自主性・協同性・基本的生活習慣の育成 			
内部評価	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>外部評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	B	外部評価	B
B	外部評価	B		

NO.3

推進方策	生涯学習の機能を活用する教育・保育			
施策に対する評価内容	<ul style="list-style-type: none"> 地域の人たちとの交流継続 情報発信 子育て支援の充実 学社融合の取組 安全運行、災害防止活動 			
評価内容	盆踊り会等による地域との交流を図るとともに、地域の教育資源を生かした体験事業を実施した。また、園日より、クラスだより、保健だより等発信し、情報の提供をすとともに、共有化を図った。災害防止活動については、年間計画的に実施しながら実践的な実施を行った。子育て支援センターにおいては、母親を孤立させない、また、子育てに関する情報の提供、相談業務の充実を促進するために各種事業を計画的に実施した。			
今後の課題と必要な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 地域施設、自然を活用した体験、見学学習の工夫改善 年間計画的に行う避難訓練の工夫改善 子育て支援センター事業の充実 			
内部評価	<table border="1"> <tr> <td>B</td> <td>外部評価</td> <td>B</td> </tr> </table>	B	外部評価	B
B	外部評価	B		

9 社会教育課所管の施策・事業評価調査

(1) 学校・家庭・地域社会が一体となった「ふるさと力」の向上と人とのネットワークを活かした生涯学習社会の実現

①レ・コード館における社会教育の推進

NO.1

推進方策	音楽の町としての特徴を活かした文化活動の向上を目指し、文化協会をはじめ各団体との連携を強化し、また、文化・芸術活動を通じ、町民がステージ発表を通して緊張感や達成感を体験できる取組みを進める。
施策に対する評価内容	①音楽体験交流事業 ②レ・コード館ジュニアジャズバンド活動事業 ③楽器体験講座 ④文化協会補助事業 ⑤レ・コード館自主企画運営委員会補助事業
評価内容	①昭和音楽大学との提携により、中学校吹奏楽部に対する演奏指導を行う「吹奏楽クリニック」、児童生徒に音楽鑑賞機会を提供する「アウトリーチコンサート」、高度な演奏を町民に提供する「パートナーシップコンサート」を実施し、町民に対し高いレベルの音楽文化を提供することができた。 ②レ・コード館ジュニアジャズバンドは、H28年度、定期演奏会を含め町内外で6回の演奏活動を行い、安定した活動を継続している。ジャズを学ぶことで、演奏力の向上のみならず、人間関係形成能力や社会性の向上に繋がっている。 ③小学生を対象としブルーホース及びジュニアジャズバンド指導者を講師に、音楽へのきっかけづくりとして楽器に触れる機会の提供、そして演奏することの楽しさを体験させることができた。 ④町民文化サークルで構成される文化協会の運営、事業実施を支援することとで文化活動の活性化と推進に繋がった。 【主催事業】町民文化祭「総合作品展及び芸能発表会」参加者993名 ⑤自主企画委員会の運営を支援することにより地域住民に対し、優れた芸術・文化の鑑賞機会の提供が図られ、豊かな地域づくりの推進に寄与した。 【主催事業】山崎まさよしコンサート 他9公演 来場者1,484名
今後の課題と必要な取り組み	①昭和音楽大学より講師の派遣及びコンサートにおける多様なアーティストの提供など、今後もこれまで同様に効果的な事業展開を図る。 ②ジュニアジャズバンドは、町内外の児童生徒が在籍しており全道的にも先駆けとなった活動でもあるため、今後も活動を継続できるよう運営委員会を中心とした支援を図る。 ③体験講座終了後の受け皿となるジュニアジャズバンドへの加入促進の他、将来的に音楽を趣味としていけるような取り組みも進める。 ④高齢化や会員減少等により解散となり文化協会を脱退する団体もあるが、新たに加盟する団体もあるため、サークル数に大きな変動はないが、前記のような現状もあるため、様々な支援を図る。 ⑤公演演目は多種多様なジャンルで多岐に渡るため、資料提供や助言をはじめとした支援の他、事業における相互協力を一層強めるよう努める。

内部評価	A	外部評価	A
推進方策	平成29年度にレ・コード館開館20年の節目を迎え、老朽化に対応した施設管理を進めるとともに、記念事業のあり方、館運営や収集レコードの管理・活用方法などについて方針を示す。		
施策に対する評価内容	①レ・コード館整備事業 ②20周年記念事業の検討 ③レ・コード館の運営に関する検討		
評価内容	①ボイラー改修及び展望塔にエアコンを設置したことにより、適切な温度管理ができるようになり結露も大分解消され、施設の環境を整えることができた。 ②町の主催事業のほか、この間レ・コード館とともに歩んできた文化協会を初めとする、各団体・個人の活動や機能を活かした事業を基本とした20周年記念事業の計画を立てることができた。 ③今後のレ・コード館運営について、収集レコードの入力加速化、レコードの活用、ミュージアムのリニューアルと有料コースの運営、社会教育施設としての役割の4点について方針を示すことができた。		
今後の課題と必要な取り組み	①継続した施設修繕の実施 ②計画に基づく事業の実施 ③方針に基づく館運営の検討		
内部評価	A	外部評価	A

NO.2

②社会体育の充実

NO.1

推進方策	体力向上や健康づくりは、家族や地域の絆を深め、明るく豊かな生活をおくる上で、多くの町民がスポーツに気軽に取り組み始める環境整備に努める。特に近年では、健康型スポーツ活動に関する町民ニーズが高まっているため、体育関係団体や保健・医療・福祉分野との連携を図り、スポーツレクリエーションの普及推進に努める。	
施策に対する評価内容	①体育施設整備事業 ②学校開放事業 ③各種スポーツ教室の開催	
評価内容	①社会教育施設は、経年劣化により計画的に改修を行い施設整備に努めている。平成28年度は、判官館森林公園テニスコートの防風ネットの修繕の他、町民グラウンドのスコアボードの改修を行い、利用者に安全で快適な施設の環境整備に努めることができた。 ②町内小中学校の体育館を夜間開放することにより、町民が気軽にスポーツ活動を行う場所の充実が図られた。 ③体育関係団体等との連携を図ったことで多様なスポーツ教室を開催できたほか、各世代別にスポーツをする楽しさを体験させることができた。	
今後の課題と必要な取り組み	①社会体育施設は計画的に施設整備に努める。 ②スポーツ活動を行う場所の充実を図るため、学校開放事業は継続して進める。 ③今後も関係団体と連携を図りながら町民のニーズにあった各種スポーツ教室の開催に努める。	
内部評価	A	外部評価 A

NO.2

推進方策	職員体制を強化し、教育委員会が主体性をもって施設管理や体育振興事業に取り組みを進める。	
施策に対する評価内容	①体育専門職員の配置 ②施設管理の一部直営化	
評価内容	①専門職員を配置したことにより、これまで民間で実施してきた各種スポーツ教室について、体育行政が責任をもって運営する体制が整えられた。 ②平日夜間及び土曜日中の施設管理業務を直営で実施したことにより、利用者に対し施設の利用等の問い合わせに対し、対応可能となり利便性の向上につながったほか、行政が責任をもった施設管理に努めることができた。	

今後の課題と必要な取り組み	①行政がスポーツ振興を推進するため、体育専門職員の専門性の向上を図る必要がある。 ②施設管理体制については随時検証し、職員に負担がかからないよう努める。	
内部評価	A	外部評価 A

NO.3

推進方策	競技スポーツにおいて、予選を勝ち抜いて全道、全国大会に出場する個人・団体に対する助成について、教育委員会が助成基準を明確化した上で、体育協会と連携した助成を行うことで、競技力向上と、選手・指導者育成などの支援強化を図る。	
施策に対する評価内容	・スポーツ大会選手派遣事業	
評価内容	・派遣費の対象及び補助金額を充実したことにより、事業利用者が増え、スポーツ振興を図ることができた。 H28年度実績 5団体・4個人に交付 257,700円	
今後の課題と必要な取り組み	・管内各町の派遣費補助の状況を把握しながら、適正な助成基準の見直しを図る。	
内部評価	A	外部評価 A

③図書プラザ事業の充実

NO.1

推進方策	幼児を対象として実施している「ブックスタート事業」は、子どもの本に対する興味関心を高め、親子の絆を深める上で効果的であるとの評価を踏まえ、継続した取組みを行う。	
施策に対する評価内容	①ブックスタート事業の実施(4か月対象:ブックスタートパックのプレゼント及びボランティアサークルによる絵本読み聞かせ) ②セカンドブック事業の実施(3歳対象:絵本5種のうち好みの1冊をプレゼント)	
評価内容	・保健福祉課主催の乳幼児健診会場を活用することで、ほぼ全ての対象親子に絵本の大切さ、絵本の読み聞かせを通じた親子のふれあいの重要性を認識してもらうとともに、読書への興味を培うことができている。	
今後の課題と必要な取り組み	事業内容やボランティアサークル「ぐっ・ぱ」の活動を広く周知し、認知度の向上とボランティアサークル会員の増強する取り組みに努める。 ・就学前児童と保護者への更なる支援充実 ・ボランティア育成と支援	
内部評価	A	外部評価 A

NO.2

推進方策	読書記録手帳に関する周知や、読書週間事業などを通じ、利用者の利便性に配慮するとともに、本や学習の視点以外でも、知の拠点として、町民が気軽に集えるプラザ運営への工夫に努める。	
施策に対する評価内容	①読書週間事業 ②あおぞら図書館事業 ③こども1日司書体験 ④「読書記録」手帳配布事業	
評価内容	①毎回テーマを決め、蔵書を活かした展示を中心に実施。事業は利用者に着し効果が高い。 ②児童館と連携し子ども達に屋外遊びと本の活用を組み合わせた内容で本への関心が高まる効果があった。 ③司書業務体験では施設の役割を理解し、同時に本の活用方法も学ぶ機会となっている。 ④読んだ本のタイトル等記入する「読書記録」手帳を希望者に配布することにより児童生徒の読書意欲の向上に繋がった。	
今後の課題と必要な取り組み	図書プラザの利用促進に繋がるよう事業内容や展示装飾に工夫を図るとともに、来館者が求める情報提供に努める。 ・図書プラザ事業や展示・装飾の継続と工夫 ・「読書記録」手帳の配布と利用促進	
内部評価	A	外部評価 A

NO.3

推進方策	今年度から始まる第2次子どもの読書活動推進計画に基づき、学校図書室への支援を継続するなど、児童生徒の読書意欲の向上に努める。	
施策に対する評価内容	①森みっ少年少女文芸賞 ③移動図書館車アニマル号運行 ②学校図書室利用促進事業	
評価内容	①詩人「森みつ」氏の業績を讃え、子ども達の文芸振興向上を目的に実施しており、各学校とも連携を図り効果を上げている。 ②学校図書室の利用促進のため、町内小中学校へ年間5,400冊の本を長期貸出し、学校との連携及び図書室有効活用を図ることが出来た。 ③小中学校にアニマル号を運行し、効果的に読書推進を図ることが出来た。	
今後の課題と必要な取り組み	・今後も子どもの読書活動推進計画に基づき、児童生徒の読書意欲の向上に努める。	
内部評価	A	外部評価 A

④郷土資料館事業の充実

NO.1

推進方策	資料館がもつ「資料収集」「整理保存」「調査研究」「教育普及」という4つの機能を活かし、町民に親しまれる館運営の工夫に努める。
施策に対する評価内容	①郷土資料館教育普及活動事業 ②ふるさと歴史伝承活性化事業 ③郷土資料館整備事業
評価内容	①各年代に則した多様な事業展開を図り教育普及を行ったことで、理解を深めることができた。 ②郷土文化研究会と連携し、なつかしいふるさと風景の伝承や、調査研究を行うことができた。 ③計画的に資料整理をすることができている。
今後の課題と必要な取り組み	①魅力・理解しやすい教育普及事業の展開 ②資料整理の継続と活用への検討 ③野外展示や史跡の環境整備と調査研究の充実
内部評価	A
外部評価	A

NO.2

推進方策	新冠に伝わる逸話や古老談などをまとめた「新冠百話」は、平成29年度の完成を予定しているが、特に子供向けに残したい逸話や伝説を選定し、絵本としてまとめる取組もあわせて進める。
施策に対する評価内容	①『新冠百話』単行本の編集 ②『新冠百話』絵本の編集と読み聞かせの会との連携
評価内容	①『新冠百話』単行本の編集では、調査記録や執筆資料、文献資料等の整備や調査研究を施しながら刊行物の形へとまとめ、発刊する準備を整えることができた。 ②『新冠百話』絵本の編集では、読み聞かせの会「びっくり箱」と連携しながら協議を重ね、絵本としての素材を集約した。単行本の発刊とあわせて、絵本も同時発刊できるところまで準備を整うことができた。
今後の課題と必要な取り組み	①『新冠百話』単行本の発刊 ②『新冠百話』絵本の発刊 ・刊行物を活用した事業展開
内部評価	A
外部評価	A

NO.3

推進方策	幌尻岳の名勝指定に伴う啓発のため、町内に看板を設置するほか、ポロシリにまつわる伝説や自然環境の素晴らしさについての伝承事業を継続する。
施策に対する評価内容	・名勝ピリカノカ幌尻岳(ポロシリ)の案内看板、プレートを設置
評価内容	・幌尻岳を眺望できる新冠温泉ホテルの入り口や、レ・コールド館の優勝の塔に、案内看板やプレートを設置したことで、多くの方に、名勝ピリカノカの存在を周知することができた。
今後の課題と必要な取り組み	・名勝ピリカノカ幌尻岳(ポロシリ)の、豊かな自然相や知られざるアイヌ文化を詳しく伝える工夫をする(リーフレットの作成)。
内部評価	A
外部評価	A

⑤青少年教育の充実

NO.1

推進方策	<p>児童館事業は、遊びや体験を中心に実施する、放課後子ども教室との連携で運営しているが、本年度からは職員体制を強化し、学童保育の要素を強化した取組を行う。また、スクールバスを活用し、朝日小学校児童が放課後、児童館利用やスポーツ活動等に参加しやすい環境を整えるなど、子育て支援や、子どもたちの活動機会の拡充に努める。</p>		
施策に対する評価内容	<p>・児童館運営事業(児童館クラブ)・放課後子ども教室事業</p>		
評価内容	<p>・平成28年度より新設実施した児童館クラブ事業において新冠小・朝日小両校の就労支援を図るべく、預かり形態の申告、欠席時の連絡を利用保護者へお願いし、職員は出欠確認の他、活動場所の制限・見直し体制の強化を図ってきた。規則を整備し、町民センターで実施している『放課後子ども教室事業』『児童館』利用児童との区分けを明確化したことで、事業毎の目的・役割が整理できてきた。</p> <p>・朝日小学校区児童が児童館クラブ事業を利用しやすくなるためにスクールバスを活用したことで就労支援の他、市街地区で実施している少年団活動や習い事にも活用している児童もおり、朝日小学校区の児童・保護者にとって効果の高い事業となった。</p> <p>H28年度朝日小 児童数66名 児童クラブ利用児童数22名</p>		
今後の課題と必要な取り組み	<p>・継続的な保護者の就労支援対策等として、両学区の児童を対象とした預かり事業を実施し、より安全・安心な居場所づくりのために、管理運営体制を整備する。</p>		
内部評価	A	外部評価	A

NO.2

推進方策	<p>少年国内研修事業については、継続した取組を進めるとともに、相互交流先である金武町子ども会が来町することから、受入に向けて具体的な準備を進める。</p>		
施策に対する評価内容	<p>①沖縄県金武町中川区子ども会との交流を中心とした研修事業 ②沖縄県金武町中川区子ども会受入事業</p>		
評価内容	<p>①中学1年生の参加者が3名と極端に少なく、中学生のリーダーをサポートするためには高校生サブリーダーを2名配置した。高校生はサポート役をきちんと果たし、参加者も本研修を通して積極性やプレゼン能力などを身に付けて大きく成長した。</p> <p>②今回で2回目となる受入事業は、相手方の意向を聞き取り前年度参加者及びその保護者を中心に実行委員会を組織し事業を進め、子ども達が積極的にコミュニケーションを取るなど和やかな交流を図ることができた。</p>		
今後の課題と必要な取り組み	<p>・沖縄研修における金武町との交流は毎年実施するものとし、本町への受入は3年に一度実施する計画で交流の充実を図る。</p> <p>・中川区子ども会の受け入れについては、形式だけの交流ではなく、本質的な交流となるよう検証していくとともに内容の充実を図る。</p>		
内部評価	A	外部評価	A

⑥成人教育の充実

NO.1

推進方策	各年齢層の多様な学習ニーズを的確に把握し、きめ細やかな支援活動を展開する。		
施策に対する評価内容	①プラスワンセミナー ②生涯学習講座		
評価内容	①現役道産子スキー選手である葛西紀明氏を講師に招き、幅広い世代の町民に対し学習機会の提供を図ることが出来た。 ②町民のニーズにより日々の生活に直接関係する講座を中心に実施し、男性参加者も増加している。また、講師についても、町内在住者を中心に依頼しており、人材発掘にも一定の成果を上げている。		
今後の課題と必要な取り組み	①町民の学習要求に応えるため、幅広いジャンルからの講師の選定を行う必要がある。 ②町内講師の発掘や活用により、参加者と講師の繋がりを持ち、学習した内容を継続できる環境づくりを目指す。 ③年度末に事業が集中してしまっことから、計画的な講座開催に努める。		
内部評価	B	外部評価	B

NO.2

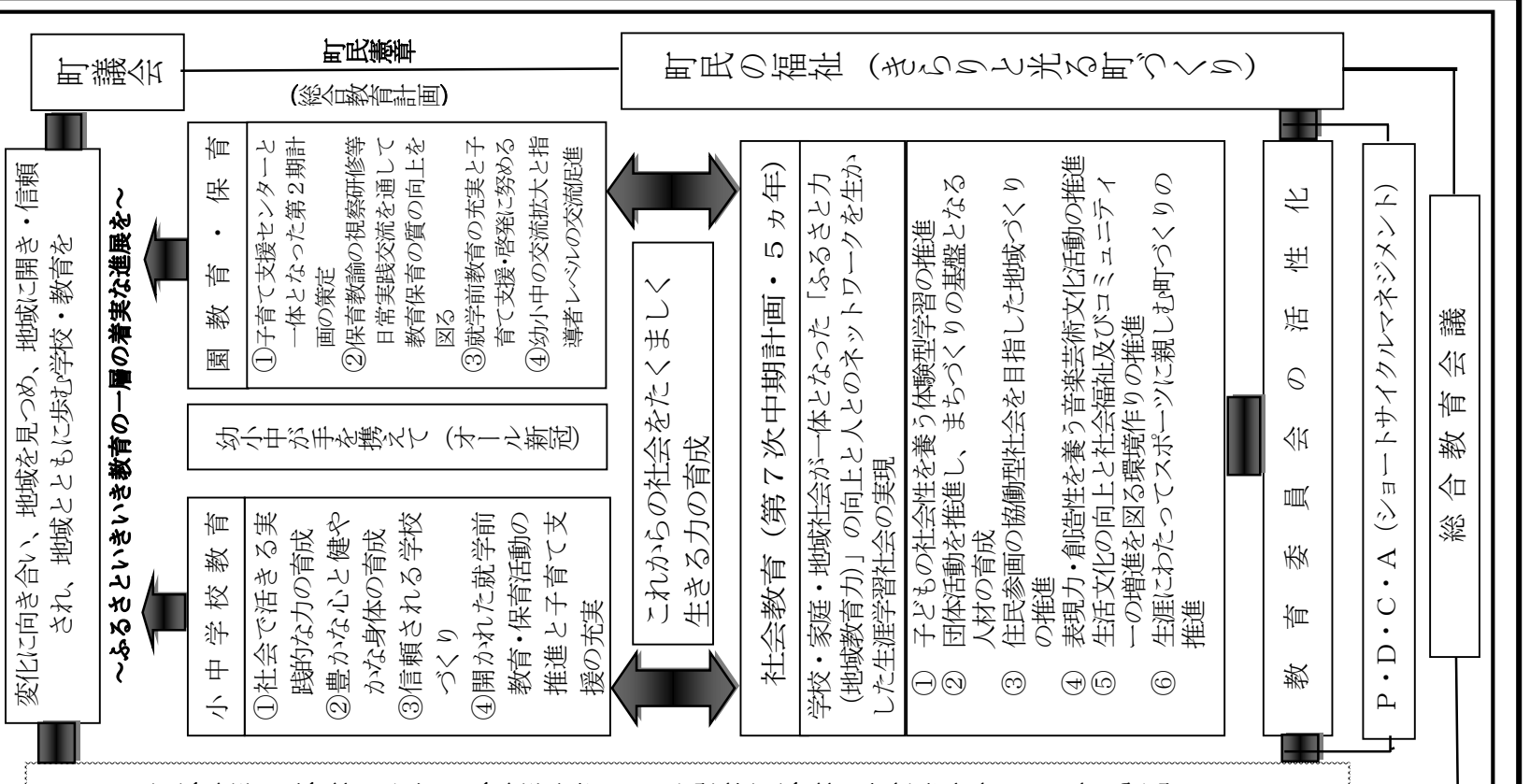
推進方策	高齢社会への対応として重要となる高齢者教育は、いきいき大学を中心として、町が実施する介護予防事業との連携強化により、参加しやすい事業運営に努める。		
施策に対する評価内容	•いきいき大学の実施		
評価内容	•いきいき大学では、開校式から修了式まで全7回の学習会を行った。学習会の内容は、苔玉づくりやフワフワアレンジメントなどの講座のほかバスを利用して町内外の施設見学と歴史探訪を行い、好評に終了した。		
今後の課題と必要な取り組み	•今後も参加者からのニーズを聞き取りながら、生きがいづくりや健康づくりに努めながら事業展開を図る。 •また、保健福祉課における介護予防事業とも連携し、対象者がより参加しやすい環境づくりに努める。		
内部評価	A	外部評価	A

NO.3

推進方策	家庭教育においては、親同士のつながりの強化を推進するとともに、「地域ぐるみでの子育て」への意識を醸成するため親世代に対する学びの支援を行い、PTA連合会とも連携した取組みを推進する。		
施策に対する評価内容	•家庭教育事業(補助事業)		
評価内容	•新冠PTA連合会と共催で、旭川赤十字病院 小児科部長である諏訪清隆氏を講師に招き、ネット利用を含めた子ども達の生活習慣について理解を深めることができた。		
今後の課題と必要な取り組み	•今後も学校等関係機関とは綿密な相互協力体制の確立に努め、講演事業を基本としながら家庭教育向上に努める。		
内部評価	B	外部評価	A

新冠の教育

平成28年度 新冠町教育行政推進全体構造図



『基本姿勢』

- 1 未来への展望、すべては子どもたちのために
 - 2 意欲的な学びと豊かな心を育む文化の町 新冠
- 《教育行政推進の重点》
- 1 これからの社会をたくましく生かす力の育成
 - 2 ふるさと力の向上と人的ネットワークを活かした生涯学習社会を目指す
 - 3 地域全体ですすめる教育と教育委員会の役割

I 二 学校教育 = 『これからの社会をたくましく生かす力の育成』

- I 子どもたちに社会で活きる実践的な力の育成**
- 次期学習指導要領実施による学力向上に向けた適切な教育課程の編成と実施
 - 全校的な学習過程や学習規律の統一による学習環境の整備を進める
 - ICT教育推進委員会と連携し、デジタル教科書配備・タブレット利用ソフト充実などICT機器の活用を奨励し、授業の効率化と充実を進める
 - 家庭学習時間の充実や生活リズムの確立を図るため、PTAと協議・啓発活動を進め生活習慣の形成を図る
 - 特別支援教育連携協議会を通して、一人ひとりのニーズに応じた特別支援教育の推進を図る
 - 校舎教室など施設・設備や理科・体育などの教材・教具の整備をすすめ、学習環境の改善を図る

II 豊かな心と健やかなからだの育成

- 「特別な教科 道徳」の実施と道徳教育推進教師などの校内体制の確立。全体計画・別課等の計画の充実と道徳授業の公開に努め道徳教育の充実を図る
- いじめ未然防止 (いじめ防止基本方針)、不登校対策を (児童生徒サポートチーム) 進め、教育相談体制の確立の努める
- 学校図書館への新聞配備、PTAと連携した家読の奨励など言語活動の充実・情報活用能力の向上を図る
- フックスタター事業の対象学年の拡大、継続実施
- ふるさと給食 (年2回)、新冠産牛乳使用拡大による食育の推進
- アレルギー対応のための校内研修の促進
- 加配教員、体力向上推進委員会の活用による「一校一実践」の取組
- 関係団体と連携した防犯・防災訓練の実施

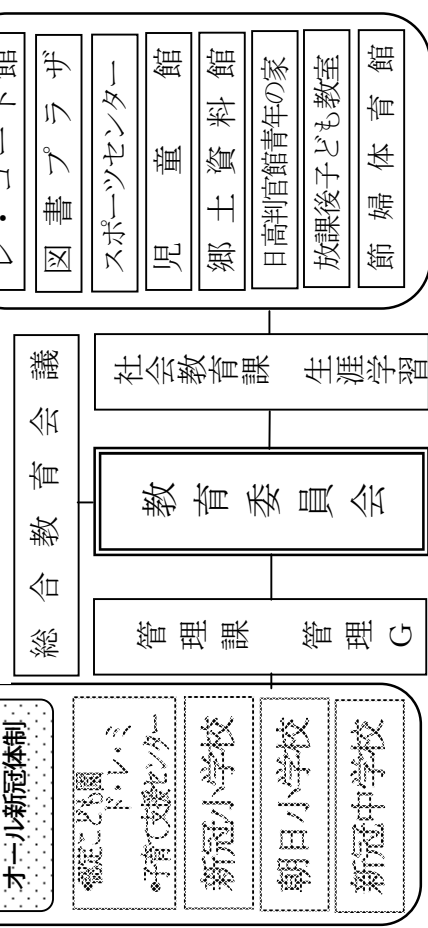
III 信頼される学校づくり

- 校長のリーダーシップにより、教職員の学校経営参画意識の高揚と学校運営の活性化を図り、「チーム学校」としての組織的な運営を支援する
- 教職員の資質向上を図るため、現職教員研修講座の継続、各種研修会への参加を奨励する
- 幼小中連携協議会を通して交流・相互訪問を継続し、学校種間の連携を強める
- 自己評価と公開・情報提供など外部評価の充実によるマナジメントサイクルを働かせた学校経営の改善を図る
- 新たな学校職員人事評価制度のもと、法令遵守に則り規律の徹底に努める
- 教職員の指導力向上、授業実践の公開・情報発信のため、「研究指定制度」を設ける
- 学校のニーズに基づいた学校ボランティア支援を広く求めていく

IV 認定こども園 ド・レ・ミ

- 開かれた就学前教育・保育活動の推進と子育て支援の充実**
- 認定こども園ド・レ・ミの開園以来5年間の成果の上に、第2期の計画を策定し、子育て支援センターと一体的な運営を進めます
 - 保育教諭の視察研修や講師を招聘した研修、日常実践の交流等を通して一層の指導力の向上を図り、教育の質の向上を図ります
 - 連携型認定こども園の特色を活かした教育と保育の一体的運用で、就学前教育を充実させ、子育て支援・啓蒙に努めます
 - 小中学校が連携を図り、幼児・児童・生徒・生徒の一層の交流を拡大し、円滑な接続と指導者レベルの交流も促進します

《新冠町教育委員会》



… [社会教育の推進] …第7次社会教育中期計画5カ年、初年度～学校・家庭・地域社会が一体となった「ふるさと力(地域教育力)」の向上と人とのネットワークを生かした生涯学習社会の実現～

1 レ・ロード館における社会教育の推進

- 音楽の町として文化活動の向上を目指し、文化協会等の団体と連携強化を図る
- 町民がステージ発表を通して緊張感や達成感を体験できる取組の推進
- HI29レ・ロード館開館20年を迎え、記念事業・管運営等について方針を示していく

2 社会体育の充実

- 町民がスポーツに気軽に取り組み始める環境整備に努める
- 健康型スポーツ活動の関心の高まりから体育団体・保健・医療・福祉分野との連携によりスポーツレクリエーションの普及・推進に努める
- 施設管理、社会体育事業については、職員体制を強化し、主体性をもつて取り組んでいく
- 全国大会出場個人・団体への助成基準を明確化し、支援強化を図る

3 図書プラザの事業の充実

- 「ブックスタート事業」〔0歳・3歳〕の継続
- 読書記録手帳の交付など利便性に配慮したプラザ運営の推進
- 第2期こども読書活動推進計画(今年度から)に基づく学校への支援

4 郷土資料館事業の充実

- 「資料収集」「整理保存」「調査研究」「教育普及」4機能を活かした館の運営に努める
- 「新冠百話」、絵本の作成の取組とともに平成29年度完成を目指す
- 幌尻の石勝指定に伴う啓発看板の設置、ホロシリにまつわる伝説や自然の素晴らしさの伝承事業の継続

5 青少年教育の充実

- 学童保育の要素を強化した児童館事業の取組の推進
- スクールバスを利用した朝日小学校児童の放課後の児童館利用やスポーツ活動に参加できる環境整備に努める
- 少年国内研修事業の継続 (沖縄県金武町子供会との交流)

6 成人教育の充実

- 各年齢層への多様なニーズに応えるきめ細やかな支援
- 高齢者大学を中心とした介護予防事業との連携強化による高齢者教育推進
- 「地域ぐるみでの子育て」意識を醸成し、PTA連合会との連携した取組

＝地域全体ですすめる教育と教育委員会の役割＝

- ① 総合教育会議を通して町長部局・各課との連携、関係機関との協力を得て、児童生徒を取り巻く諸課題の解決に努める
- ② 学校訪問、視察研修などの実施により教育課題の把握に努め、外部評価を充実した開かれた運営を進める
- ③ 学校支援地域本部などの参画を得て、学習・体験・交流活動を促進し地域の教育力向上に努める
- ④ 表彰、奨励事業、奨学金制度、漢字英語検定料助成制度などを継続し、生涯学習活動の支援を図る
- ⑤ 経済的理由による就学困難な家庭に対する就学援助事業の推進と援助内容の充実、項目の拡大実施を行う

社会教育施設	事業内容	住所・電話 F A X 番号
レ・コールド館 (社会教育課)	・各種社会教育事業 ・レコード所蔵 9 2 1, 1 3 0 枚	北海道新冠郡新冠町中央町 1-4 電話 0146-45-7833 F A X 0146-45-7778
図書プラザ (レ・コールド館内) 蔵書: 3/15 現在	・読み聞かせ ・移動図書 (アニメル号) ・蔵書数 8 9, 8 1 3 冊	北海道新冠郡新冠町中央町 1-4 電話 0146-45-7777 F A X 0146-45-7778
郷土資料館	・新冠町の歴史の データベース化 ・ネイチャークラブ	北海道新冠郡新冠町中央町 26-1 電話 0146-47-2694 F A X 0146-47-2694
青年の家	・青少年活動宿泊施設	北海道新冠郡新冠町字高江 16 電話 0146-47-2258 F A X 0146-47-4373
スポーツセンター	・各種スポーツ指導 ・健康体操 ・総合型スポーツクラブ	北海道新冠郡新冠町中央町 25 電話 0146-47-2922 F A X 0146-47-4080
町民センター	・ニコニコクラブ (放課後子ども教室) ・サークル活動 ・トレーニングルーム	北海道新冠郡新冠町中央町 25-6 電話 0146-47-2106 F A X 0146-47-4080
節婦体育館	・開放事業	北海道新冠郡新冠町字節婦 24-2

学校名	校長・教頭 園長・保育所長	学級数 児童生徒数	住所・電話 F A X 番号
認定こども園 ド・レ・ミ	木下 英利 大沼 ひとみ	※下記の 表に記載	北海道新冠郡新冠町東町 18-2 電話 0146-47-2489 F A X 0146-47-2903
新冠小学校	品田 和輝 加渡 三之	8 (3) 学級 2 2 6 名	北海道新冠郡新冠町中央町 20-1 電話 0146-47-2103 F A X 0146-47-2201
朝日小学校	松井 伸樹 高杉 省一	6 (1) 学級 7 4 名	北海道新冠郡新冠町字朝日 2 9 5-41 電話 0146-47-2909 F A X 0146-45-7625
新冠中学校	鈴木 利之 岡田 一之	6 (2) 学級 1 5 4 名	北海道新冠郡新冠町字北星町 21-2 電話 0146-47-2905 F A X 0146-47-4412

【学 校】・【認定こども園】 3 月 1 日現在 () は特別支援学級数

保育クラス	保育人数	保育クラス	保育人数
0 歳児 (いちご)	5	3 歳児 (さくらんぼ)	3 8
1 歳児 (みかん)	1 3	4 歳児 (も も)	3 8
2 歳児 (ばなな)	2 8	5 歳児 (めろん)	3 9
認定こども園ド・レ・ミ入園児総数 1 6 1			

※保育・園児数 4・4 現在

学校名	主 な 行 事
認定こども園 ド・レ・ミ	・入園式(4/4) ・運動会(7/3) ・お泊り会 (7/22・23) ・小中学校との交流会
新冠小学校	・入学式(4/7) ・運動会(6/12) ・修学旅行 (5/18~19) ・地域参観日(9/6) *開校記念日 (10/12)
朝日小学校	・入学式(4/8) ・運動会(6/4) ・修学旅行 (9/14~15) ・地域参観日 (未) *開校記念日 (6/12)
新冠中学校	・入学式(4/7) ・体育祭(5/28) ・修学旅行 (5/10~13) ・地域参観日 (2/8) *開校記念日 (4/10)

【学校行事等】

【社会教育行事等】

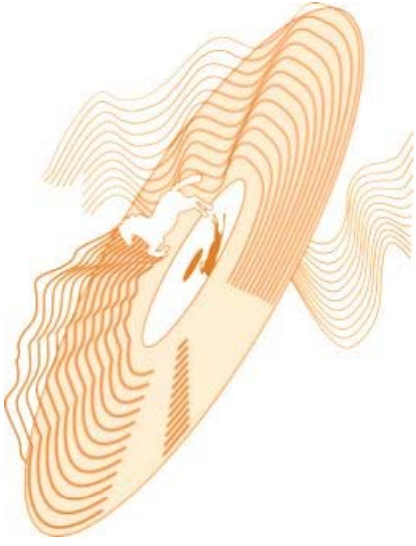
月	社 会 教 育 の 主 な 事 業
4	○町民グラウンド開設 ○楽器体験講座
5	○昭和音大ミニコンサート ○いきいき大学開講
6	○レ・コールド館誕生記念事業 ○吹奏楽クリニック ○釧路芸術館, 札幌市資料館出張レコードコンサート
7	○吹奏楽クリニック ○北海道開拓の村出張コンサート ○水泳教室
8	○管内吹奏楽祭 ○音楽教室 ○ふるさと盆踊り
9	○ジャズフェスティバルコンサート ○子ども芸術劇場 ○老人スポーツ大会
10	○新冠町文化協会総合展示会
11	○新冠町文化協会文化祭 ○ジュニアジャズ定期演奏会 ○つうがく合宿 ○優勝とワインのタベ
12	○市民劇団ど・こ〜れ定期公演 ○女性事業 (そば打教室) ○少年国内研修 ○森みつ文芸賞 ○農水新冠賞授賞式 ○成人式 ○ウインターフェスティバル
1	○札幌市資料館出張レコードコンサート ○昭和音大パートナーシップ, アウトリーチコンサート (学校訪問)
2	○青少年健全育成事業 ○にこにこクラブ事業 ○図書館夜間開放事業 ○女性教室 ○レコードコンサート ○ブックスタート, セカンドブック事業 (0 歳児; 3 歳児) ○スポーツ教室 ○NI-SPOSスポーツ教室の開催 ○ボランティア体験講座 ○いきいき大学 ○学校開放事業 ○家庭教育学級事業 ○プラステンセミナー ○自然体験学習 ○生涯学習講座 ○郷土資料館事業



3校1園のオール新冠

平成28年度

新冠町の教育



新冠町民憲章

わたしたちは、日高の秀峰幌尻岳をのぞみ、緑ゆたかな大地と茫洋たる太平洋にはぐまれた新冠の町民です。

わたしたちは、先人の開拓精神を受けつぎ、たくましく未来にむかって躍進する住みよい町をつくるため、この憲章を定め、実行します。

- 1 いつも、丈夫なからだをつくり、いきいきと働く町にします。
- 2 いつも、明るくあいさつをかわし、きまわりを守る町にします。
- 3 いつも、たがいにいはげまし合い、助け合う町にします。
- 4 いつも、すすんで学び、文化の高い町にします。
- 5 いつも、まわりを美しく、自然を大切にします。

〒: 059-2492 北海道新冠郡新冠町字北星町3番地の2

新冠町教育委員会

電話 0146-47-2547
FAX 0146-47-2500